

平成 28 年 久万高原警察署管内の 交通事故の特徴



平成 28 年中 交通事故発生状況

	H28 年	H27 年	前年比	高齢者 (前年比)
発生件数	14 件	18 人	- 4 件	3 件 (- 4 件)
死者数	0 人	2 人	- 2 人	0 人 (- 2 人)
負傷者数	17 人	23 人	- 6 人	3 人 (- 2 人)

※ 物件事故 235 件発生

交通人身事故の全般的な特徴

- 自動二輪車が関与する事故が 4 件と多い
- 歩行者と車両との事故が 4 件と多い
- 運転者の安全速度（道路状況に応じた安全な速度）違反による事故が 6 件と多い



日時・事故形態・年齢などの交通事故の特徴

- 人身事故は、4 月～11 月の行楽期に多く、物件事故は 8 月に 37 件と多い。
- 午前 10 時～午後 5 時までの昼間時に交通事故が 179 件と多発
- 車両単独による衝突事故が 89 件と多い。
- 年齢別では、20～24 歳代の運転者が 30 人と多い。

シニア・セーフティ・プロジェクト 2017

【高齢者の事故防止対策】実施中

スローガン：「高齢者をいたわるのも“交通マナー”です！」

- (1) プロジェクト 1
「高齢の歩行者・自転車利用者・ドライバーに対する働きかけ」
- (2) プロジェクト 2
「社会全体で高齢者を交通事故から守る取組」
- (3) プロジェクト 3
「高齢者に優しい安全な道路交通環境の整備」